

【条例施行規則64条関係（500t以上1000t未満排出事業者用）】

（様式第33号）（第64条関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月17日

（宛先）長野市長

殿

提出者

住所 新潟県新潟市中央区湖南1番地2

氏名 株式会社ヒノキヤグループ パパまるハウスカンパニー

COO 宮本 行雄

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 025-290-0880

産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画について、長野市廃棄物の適正な処理の確保に関する  
条例第79条第1項の規定により提出します。

事業場の名称	株式会社ヒノキヤグループ パパまるハウスカンパニー 長野市内各事業場
事業場の所在地	新潟県新潟市中央区湖南1番地2
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D06 総合工事業
② 事業の規模	26,417百万円
③ 従業員数	360名
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】						
	産業廃棄物の種類						
	排 出 量	別紙1 集計表のとおり					
	産業廃棄物の種類						
	排 出 量						
	(これまでに実施した取組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排出抑制について情報収集及び社員教育の実施</li> <li>・混合廃棄物の排出抑制を目指し分別保管の徹底</li> </ul>					
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	0	0	0	0	0	0
	排 出 量	別紙1 集計表のとおり					
	産業廃棄物の種類	0	0	0	0	0	0
	排 出 量						
	(今後実施する予定の取組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排出抑制について情報収集及び社員教育の実施</li> <li>・混合廃棄物の排出抑制を目指し分別保管の徹底</li> </ul> <p>上記継続。</p>					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・金属くず、廃プラスチック類及びガラスくずについても分別する。</li> <li>・建物解体に伴い増加が予想される石綿含有建材等の分別を徹底する。</li> <li>・取引先作業者への分別の周知・教育を実施する。</li> </ul>
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・金属くず、廃プラスチック類及びガラスくすについても分別する。</li> <li>・建物解体に伴い増加が予想される石綿含有建材等の分別を徹底する。</li> <li>・取引先作業者への分別の周知・教育を実施する。</li> </ul> <p>上記継続。</p>
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・金属くず、廃プラスチック類及びガラスくすについても分別する。</li> <li>・建物解体に伴い増加が予想される石綿含有建材等の分別を徹底する。</li> <li>・取引先作業者への分別の周知・教育を実施する。</li> </ul> <p>上記継続。</p>

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類

0	0	0
別紙1 集計表のとおり		

自ら再生利用を行った産業廃棄物の量

産業廃棄物の種類

0	0	0
別紙1 集計表のとおり		

自ら再生利用を行った産業廃棄物の量

(これまでに実施した取組)

①現状

## 【目標】

産業廃棄物の種類

0	0	0
別紙1 集計表のとおり		

自ら再生利用を行う産業廃棄物の量

産業廃棄物の種類

0	0	0
別紙1 集計表のとおり		

自ら再生利用を行う産業廃棄物の量

(今後実施する予定の取組)

②計画

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類

0	0	0
別紙1 集計表のとおり		

自ら熱回収を行った産業廃棄物の量

自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量

産業廃棄物の種類

0	0	0
別紙1 集計表のとおり		

自ら熱回収を行った産業廃棄物の量

自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量

(これまでに実施した取組)

①現状

## 【目標】

産業廃棄物の種類

0	0	0
別紙1 集計表のとおり		

自ら熱回収を行う産業廃棄物の量

自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量

産業廃棄物の種類

0	0	0
別紙1 集計表のとおり		

自ら熱回収を行う産業廃棄物の量

自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量

(今後実施する予定の取組)

②計画

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	0	0	0	0	0
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙1 集計表のとおり				
	産業廃棄物の種類	0	0	0	0	0
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量					

【目標】		0	0	0	0	0	0
②計画	産業廃棄物の種類	別紙1 集計表のとおり					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行いう産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	0	0	0	0	0	0
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行いう産業廃棄物の量							
(今後実施する予定の取組)							

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【目標】		0	0	0	0	0	0
		別紙1 集計表のとおり					
②計画	全処理委託量						
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量						
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行いう業者へ処理委託量						
産業廃棄物の種類		0	0	0	0	0	0
	全処理委託量						
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量						
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行いう業者へ処理委託量						
(今後実施する予定の取組)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子マニフェストの運用。</li> <li>・委託契約に際し電子契約を導入。</li> </ul> 上記継続。							
※事務処理欄							

備 考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。  
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処理事項		産業廃棄物の種類																		合計
		廃プラスチック(焼タイヤ、発泡スチロール含)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含)	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず										合計
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	11.70t	0.46t	65.26t	299.26t	122.46t	8.00t	44.04t	252.30t	0.62t										804.10t
	本年度排出量(計画)	10.53t	0.41t	58.73t	269.33t	110.21t	7.20t	39.64t	227.07t	0.56t										723.68t
自ら行う(行った)再生利用に関する事項	前年度実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—										0.00t
	本年度計画(目標)	—	—	—	—	—	—	—	—	—										0.00t
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)熱回収の量	前年度実績	—	—	—	—	—	—	—	—										0.00t
	本年度計画(目標)	—	—	—	—	—	—	—	—	—										0.00t
	自ら中間処理により減量する(した)量	前年度実績	—	—	—	—	—	—	—	—										0.00t
	本年度計画(目標)	—	—	—	—	—	—	—	—	—										0.00t
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—										0.00t
	本年度計画(目標)	—	—	—	—	—	—	—	—	—										0.00t
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	11.70t	0.46t	65.26t	299.26t	122.46t	8.00t	44.04t	252.30t	0.62t									804.10t
		本年度計画(目標)	10.53t	0.41t	58.73t	269.33t	110.21t	7.20t	39.64t	227.07t	0.56t									723.68t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	7.04t	0.46t	29.75t	96.50t	122.46t	0.00t	17.88t	13.42t	0.00t									287.51t
		本年度計画(目標)	6.34t	0.41t	26.78t	86.85t	110.21t	0.00t	16.09t	12.08t	0.00t									258.76t
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t									0.00t
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t									0.00t
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t									0.00t
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t									0.00t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t									0.00t
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t									0.00t

## 【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当箇所の上段に前年度の実績(現状)を、下段に本年度の目標(計画)の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。